

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道55号 <small>あなん</small> 阿南道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県小松島市大林町森ノ本 <small>こまつしましおおほやしちようもりのもと</small> 至：徳島県阿南市橋町青木 <small>あなんしたちばなちようあおき</small>				延長	18.4km
事業概要 一般国道55号は、徳島市を起点として小松島市、阿南市、美波町、室戸市などを經由し、高知市に至る延長約240kmの主要幹線道路であり、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、四国東南地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。 阿南道路は、小松島市大林町を起点とし、阿南市橋町に至る全長18.4kmの国道バイパスであり、小松島市及び阿南市中心部における交通混雑の解消と交通安全の確保を図るとともに、周辺道路網と一体となって、阿南市以南から県都徳島市方面への交通を円滑に導くことを目的としている。						
S48年度事業化		S52年度都市計画決定 (H15年度変更)		S57年度用地買収着手		S62年度工事着手
全体事業費	約846億円		事業進捗率 (令和4年3月末時点)	約84%		供用済延長 17.2km
計画交通量	7,700~24,100台/日					
費用便益 分析結果	B/C <small>(事業全体)</small>	2.4		総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small>	121/2,004億円	
	<small>(残事業)</small>	1.05		事業費：108/1,788億円 維持管理費：13/217億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small>	127/4,861億円
基準年：令和4年 走行時間短縮便益：123/4,323億円 走行経費減少便益：1.7/460億円 交通事故減少便益：1.9/78億円						
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.9~2.9 (交通量±10%) (残事業) B/C=1.005~1.1 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.4~2.4 (事業費±10%) B/C=0.96~1.1 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.4~2.4 (事業期間±20%) B/C=0.997~1.1 (事業期間±20%)						
事業の効果等 阿南道路は、小松島市及び阿南市内における慢性的な渋滞の緩和やそれにともなう地域経済の活性化、日常生活における交通利便性の向上、救急医療や災害時の緊急輸送を支援するなど多様な整備効果が期待できる。						
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度20km/h未満である区間の旅行速度の改善が見込まれる。 ・所要時間の短縮により路線バスの利便性向上が見込まれる。 ・徳島阿波おどり空港へのアクセス向上が見込まれる。						
②物流効率化の支援 ・徳島小松島港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる。 ・徳島県南部における農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる。						
③国土・地域ネットワークの構築 ・徳島地方生活圏（徳島市）から南部地方生活圏（美波町）を最短時間で連絡する路線を構成する。 ・美波町から日常生活圏中心都市である阿南市へのアクセス向上が見込まれる。						
④個性ある地域の形成 ・辰巳工業団地、大渦新浜工業団地、徳島県南部運動公園の整備や展開を支援する。 ・「徳島県LEDバレイ構想」を支援する。 ・県南地域の観光地へのアクセス向上が期待される。						
⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（徳島赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。						
⑥安全な生活環境の確保 ・歩道が無い区間への歩道設置が見込まれる。						
⑦災害への備え ・現国道55号は第一次緊急輸送道路に位置づけられている。 ・現国道55号が通行止めになった場合の代替路線を形成する。						
⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。						
⑨生活環境の改善・保全 ・NOx排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。						

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

・徳島県、阿南市、阿南市高規格道路等建設促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。(H30.7・10、H31.1、R1.7・12、R2.1・7、R4.1・6)

徳島県知事の意見：

・「一般国道55号 阿南道路」の事業を継続するという「対応方針(原案)」案については、異議ありません。

・一般国道55号は、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、四国東南部地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしております。このうち、阿南道路は、小松島市及び阿南市中心部における交通混雑の解消と交通安全の確保を図るとともに、周辺道路と一体となって、広域的な交通ネットワークを形成する重要な道路であります。

・このため、引き続き、コスト縮減を図り、残る区間の早期供用に向けた事業推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成23年7月 日和佐道路 全線開通
- ・平成12年12月 橘湾火力発電所全機運転開始

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・昭和48年度に事業化、用地進捗率約87%、事業進捗率約84%(令和4年3月末時点)
- ・平成5年度：阿南市那賀川町中島～阿南市西路見町江川 延長2.1km (2/4) 部分開通
- ・平成12年度まで：小松島市大林町森ノ本～阿南市那賀川町中島 延長6.9km (4/4) 部分開通
- ・平成19年度まで：阿南市西路見町江川～阿南市津乃峰町西分 延長6.5km (2/4、4/4) 部分開通
- ・平成25年度：阿南市津乃峰町西分～阿南市橘町大浦 延長1.7km (2/4) 部分開通
- ・平成27年3月：四国横断自動車道 徳島IC～鳴門JCT間 L=10.9km 開通
- ・平成27年4月：国道55号(小松島市大林町字宮ノ本～阿南市津乃峰町東分間 L=13.5km) 徳島県へ移管
- ・令和2年度：阿南市那賀川町中島～阿南市西路見町江川間 延長2.1km (4/4) 部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・未開通区間における早期の工事着手を目指し、調査・設計等を進め事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

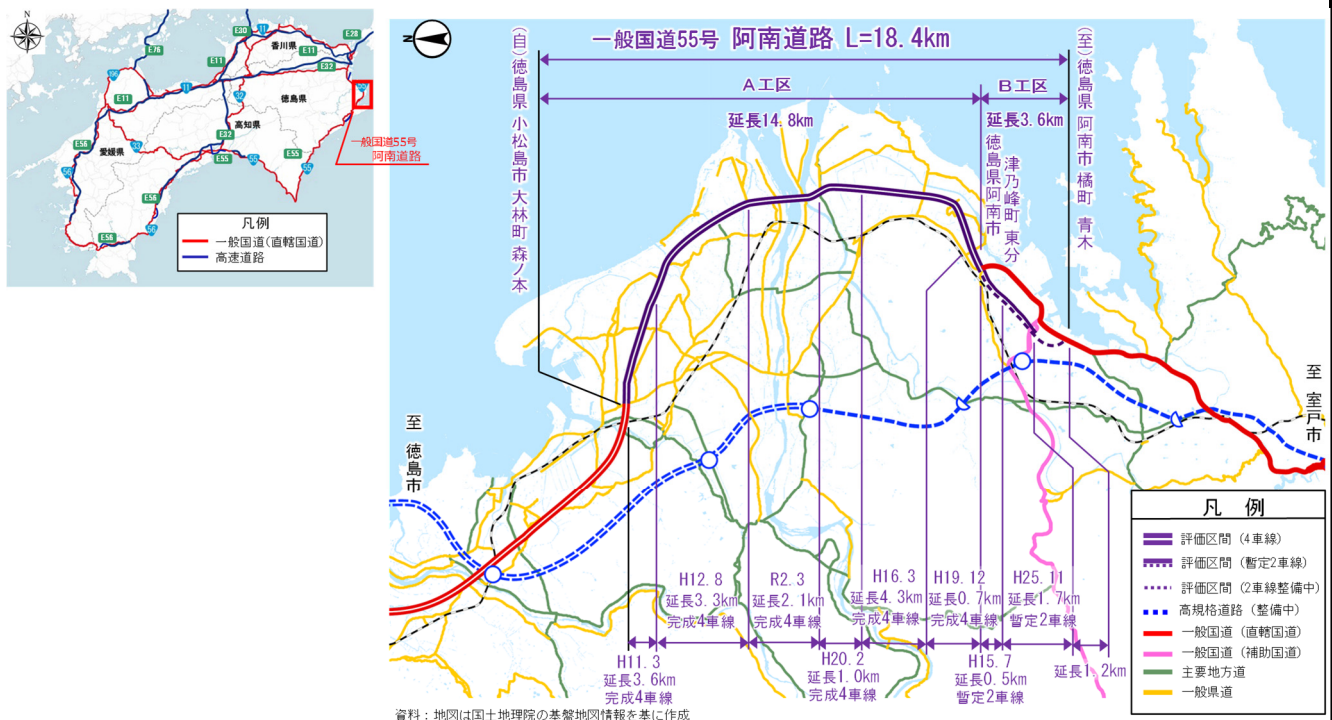
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。